

事務事業名		花いっぱい運動事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	16 青少年健全育成の推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 市民意識の啓発				01	10	05	04	33
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和42 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課				A 政策事業 B 施設整備				
	課長名	江刺 雄輝				C 施設管理 D 補助金等				
	係名	中央公民館	電話			26-3166	E 一般(A～D以外)			
	担当者	新沼 孝太	内線	432						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
・児童生徒及び市民が花と緑を育てる活動を通じ、青少年の豊かな心を育み、その健全育成に対する市民意識啓発につなげる事業。 ・具体的な業務内容は以下の通り。 ア.花苗等の数量照会(市内小中学校及び地区公民館)、イ.生産者への発注、ウ.花苗の配送 エ.生産者への支払い ・事業費の使途はア.市立小中学校の花苗費用イ.配付先までの配送料 特記事項 ・仮設商店街等への花苗やプランター等の配布は27年度で終了した。 ・28年度より市一般会計にて予算措置をしている(27年度以前は市民運動推進協議会の予算から支出)。 ・例年地区公民館の花苗費用は自己負担としているが、希望郷いわて国体PRのため、28年度限りで同国体市実行委員会の予算から支出した。						総投入量 (千円)	国庫支出金			
							都道府県支出金			
							地方債			
							その他			
							一般財源			
						事業費計(A)	0			
						正規職員従事人数				
						延べ業務時間				
						人件費計(B)	0			
						トータルコスト(A)+(B)	0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
・花苗・種子の配布(市内小中学校、地区公民館)		ア	種子・苗の配布団体数(小中学校、地区公民館)
			団体
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	花苗の配布数
・花苗・種子の配布(市内小中学校、地区公民館)			個
		ウ	プランター配布箇所数(仮設商店街)
			箇所
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・小・中学校(児童生徒)		名称	
・地区公民館(一般市民)		単位	
		カ	地区・地域公民館数
			団体
		キ	小・中学校
			校
		ク	人口
			人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・豊かな心の青少年と、その健全育成に主体的な意識を有する市民が増加する。		名称	
		単位	
		サ	運動に参加した小・中学校数
			校
		シ	運動に参加した仮設商店街等の箇所数
			箇所
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス	
・青少年健全育成に対する市民意識が啓発される。			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		108	130	130	130	130
		事業費計(A)	千円	0	108	130	130	130	130
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	190	190	190	190	190	190
		人件費計(B)	千円	760	760	760	760	760	760
		トータルコスト(A)+(B)	千円	760	868	890	890	890	890
⑤ 活動指標	ア	団体	19	19	18	18	18	18	
	イ	個	4507	5906	4800	4800	4800	4800	
	ウ	箇所	10	—	—	—	—	—	
⑥ 対象指標	カ	団体	140	140	—	—	—	—	
	キ	校	20	20	—	—	—	—	
	ク	人	38167	37633	—	—	—	—	
⑦ 成果指標	サ	校	10	11	11	11	11	11	
	シ	箇所	10	—	—	—	—	—	
	ス								

事務事業ID	0862	事務事業名	花いっぱい運動事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	家庭・地域・学校等が花と緑を育てる活動を通じて、自然や地域社会に親しみ、豊かで潤いのあるまちづくりと環境美化に対する意識を高めるため、昭和42年度から開始された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	東日本大震災の発生により多くの花壇が被災したため、花いっぱいコンクールを休止した。なお、27年度末で市民運動推進協議会が解散したため、28年度以降は中央公民館単独の事業として本運動は実施される。また、28年度は希望郷いわて国体が当市で開催されるため、そのPRのため同国体大船渡市実行委員会の協力の元事業を実施した。なお、仮設商店街への花苗等の配布については27年度を以て廃止した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	事業継続の必要性について参加団体等から要望が寄せられている。より詳細な意見・要望の把握のため参加団体の意向等について書面での調査を行う必要がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

時 記 事 業 評 価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 児童生徒及び市民が花と緑を育てる活動により自然や地域社会に親しむことで、青少年の豊かな心を育み、その健全育成に対する市民意識啓発につながっている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 児童生徒及び市民が花と緑を育てる活動により青少年の豊かな心を育み、その健全育成に対する市民意識啓発を図る本事業は、市内全域を対象とすることが望ましいため。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市内全域を対象とする(地区公民館を通じ市内全域から参加申し込みを受け付けている)ため、適切である。
有 効 性 評 価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 事業の実施内容や要望事項等に関する報告書の提出を参加団体に求めることにより、現況を正確に把握し今後の事業の方向性について検討する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 事業の目的や有効性は妥当であるため、本事業を廃止することは適当ではない。
効 率 性 評 価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 28年度は地区公民館の花苗費用を国体市実行委員会が負担したが、これは国体PRのための特例措置(1年限り)である。例年予算措置しているのは市立小中学校の花苗費用のみであり、地区公民館の費用は自己負担としているため、これ以上の削減は困難である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 花苗等の配布・あつせんの事務は最低限の所要時間で行っている。
公 平 性 評 価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 28年度は地区公民館の花苗費用を国体市実行委員会が負担したが、これは国体PRのための特例措置(1年限り)である。例年予算措置しているのは市立小中学校の花苗費用のみであり、地区公民館の費用は等しく自己負担としているため、受益者負担は公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		28年度は国体PRのため地区公民館の花苗費用が補助されたことから、27年度に比べ参加団体数(小中学校+地区公民館)が向上した。29年度以降については参加団体の要望を事業内容に反映させることで参加団体数を維持し、市民意識啓発を図る必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果																			
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止			左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等				<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
成果	向上	●																				
	維持		×																			
	低下	×	×																			
事業の現状に関する参加団体の認識や意向に関しこれまで書面で調査を行ってこなかったため、29年度以降必要な調査を実施する必要がある。																						

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	花苗の斡旋が事業の主眼となっており、事業の必要性が極めて低く、廃止を検討すべきである